

# 和泉市 観光

Osaka Izumi City

## アクションプラン

令和2年3月  
和泉市



## はじめに

本市では、多くの人や企業から『選ばれる都市』となり、持続的にまちを発展させるために、市の特長・魅力や良好な都市イメージを市内外に発信定着させ、定住・来訪・ビジネス促進につなげていくため、平成25年3月に和泉シティプロモーション戦略を策定しました。その後、平成28年2月には市内主要観光施設の観光客数を150万人に達成させる「和泉市観光振興戦略プラン」を策定し取り組んでまいりました。

シティプロモーションの分野では、関西Walker和泉版である「和泉Walker」の発刊、FMCOCOLOの市番組放送や独自サイト、Facebook、LINEなどSNSを活用するなど、これまでにない取組により本市の魅力情報を大量に発信してきました。また、観光分野においては、魅力創出重点エリアを設定し、観光ホームページの多言語化を含めたりニューアル、観光案内看板などの環境整備や、パブリックアートを設置するなど新たな魅力創出の取組によって、観光客数の150万人には達していないものの商業施設の立地なども相まって、少しずつではありますが着実に交流人口は増加し来訪促進につながってきているところです。

しかしながら、そもそも本市は、いわゆる観光地といわれる地域ではないことから、独自の観光スタイルの形成が必要であり、近年、大阪府へのインバウンド客が大幅に増加し、さらに2025年に大阪・関西万博の開催により拍車をかけて増加することが予想され、多様化する観光客のニーズを的確に捉えた取組によって、来訪促進を一層加速し、「ひと」と「経済」が市域で循環する仕組みを早急に構築することが求められます。

そのためには、市民・事業者と行政が一体となった「オール和泉」でいかに取り組めるかが効果を生み出すためのカギであり、なによりも多くの市民が取組みに参画し、本市の魅力を感じ、いつまでも魅力的なまちに育てていこうとする気運が重要となります。市民が住んでいるまちに魅力と愛着を感じ、誇りに思えることで、わがまちを自慢し多くの来訪者を呼び込もうとする状況を築いていくことこそが大きな来訪促進やひいては定住促進につながります。

この度のアクションプランでは、最初からあまり高い目標を掲げず、着実かつ確実に実施できるプランとすること、また、プラン作成後に行動、実施に移していくものでなく、プランの作成途上でも実施できるものについては実施するというプラン作成と行動を並行して行っていくこと、また、このプランを着実に実現できる組織体制やネットワークなどの仕組みをつくっていくこと、この3つの視点が本プランの大きな特徴であり、このプランに基づき本市の観光振興を着実に進めてまいります。

## 目 次

1. プラン策定の趣旨	1
(1) プラン策定の背景と課題	1
(2) プランの視点	1
(3) プランの位置付け	2
(4) プランの期間	2
2. 観光の現状と課題	3
(1) 日本人観光客の動向	3
(2) 外国人観光客の動向	4
(3) 大阪府内の観光動向	6
(4) 和泉市内の観光動向	6
(5) 和泉市の課題	8
3. 市民とともに観光客を受け入れる環境づくり	9
(1) いずみ市民大学まちづくり学部観光おもてなし学科の創設	9
(2) 市民地域ボランティアガイドの育成	9
(3) 地域通訳案内士育成等計画の策定	9
(4) 地域への愛着と誇りを醸成する取組	10
4. 市域内で「ひと」「経済」が循環できる仕組みづくり	11
(1) 新たな宿泊施設開設に伴う和泉府中駅周辺のナイトカルチャー等の観光地 づくり	11
(2) 急増する弥生の里温泉への外国人宿泊者の展開	12
(3) 和泉市久保惣記念美術館周辺の土地活用等の検討	12
(4) 和泉市立青少年の家及び施設周辺の魅力向上による観光資源化	13
(5) 団体観光ツアー客が利用可能な食事提供場所の創出	13
(6) ニューツーリズムの実施	13
(7) インターネット等を活用した観光情報の発信	14
5. 「とき」消費を生み出す大胆な観光メニューづくり	16
(1) 北部地域	16
(2) 中部地域	18
(3) 南部地域	20

6. 交通アクセス等ストレスなく周遊できる環境づくり	22
(1)現状と課題	22
(2)周遊観光バスの運行	25
(3)南海関空リムジンバスの有効活用	27
(4)定額制周遊観光タクシーの運行	28
(5)レンタカー事業者との連携	28
(6)シェアサイクルの導入	29
7. 観光客を集客するネットワークづくり	30
(1)旅行事業者	30
(2)宿泊事業者	30
(3)交通事業者	30
(4)文化団体	30
(5)教育団体	30
(6)友好・姉妹・交流・協定団体	30
(7)メディア	30
8. 達成目標と指標	32
(1)達成目標	32
(2)KPI(重要業績評価指標)	34
(3)観光客の実態調査	36
9. アクションプラン実施に向けた組織体制	37

## 1. プラン策定の趣旨

### (1) プラン策定の背景と課題

2018年(平成30年)の訪日外国人は3119万2000人(日本政府観光局「訪日外客統計」)、内、来阪外国人は約1141万6000人と36.5%を占め急激に増加しています。

令和元年には大阪で初めてのG20、ラグビーワールドカップが開催されるなど、大阪の魅力的な情報が世界に広く発信され、今まで以上に大阪に来る外国人観光客が増え続ける状況にあります。

さらに、令和7年の大阪・関西国際博覧会、その前年に開業が計画されているIR(統合型リゾート)というビッグイベント・プロジェクトがあり観光需要などによる大阪経済の飛躍的な活性化が期待されています。

しかしながら、これまでの状況からも明らかなように外国人観光客は関西国際空港から泉州地域の市町を通過し、大阪市内に集中して観光するという傾向が続いており大阪府内の衛星都市においてはインバウンドの誘導が大きな課題になっています。一方、団体から個人旅行、大阪市内から郊外の施設への移行へとインバウンドの嗜好も変化しつつある状況にあります。

このような中、本市においては北西部にホテルの進出が予定されており、戦略的に国内外から観光客を呼び込み、市域内の消費を拡大し地域をさらに活性化させるなど、市民自身が実感する活気と親しみのある魅力的なまちづくりが求められています。

### (2) プランの視点

- ① プランから実行までを「オール和泉」で行います。
- ② それぞれの役割を明確にします。
- ③ 「ひと」「経済」が市域内で循環する数値目標を明確にします。

観光振興に結びつくビッグEvent—Project

2020年 (令和2年)	東京オリンピック・パラリンピック (7/24~8/9、8/25~9/6)
2021年 (令和3年)	和泉市役所新庁舎竣工 (春)
	(仮称)ホテルルートイン大阪和泉第2開業 (春)
	ワールドマスターズゲームズ2021関西 (5/14~5/30)
	和泉市制施行65周年 (9/1)
2022年 (令和4年)	和泉市久保惣記念美術館開館40周年 (10/25)
2024年 (令和6年)	IR(統合型リゾート・大阪市夢洲)開業 (計画進行中)
2025年 (令和7年)	大阪・関西国際博覧会 (5/3~11/3)
2026年 (令和8年)	和泉市制施行70周年 (9/1)

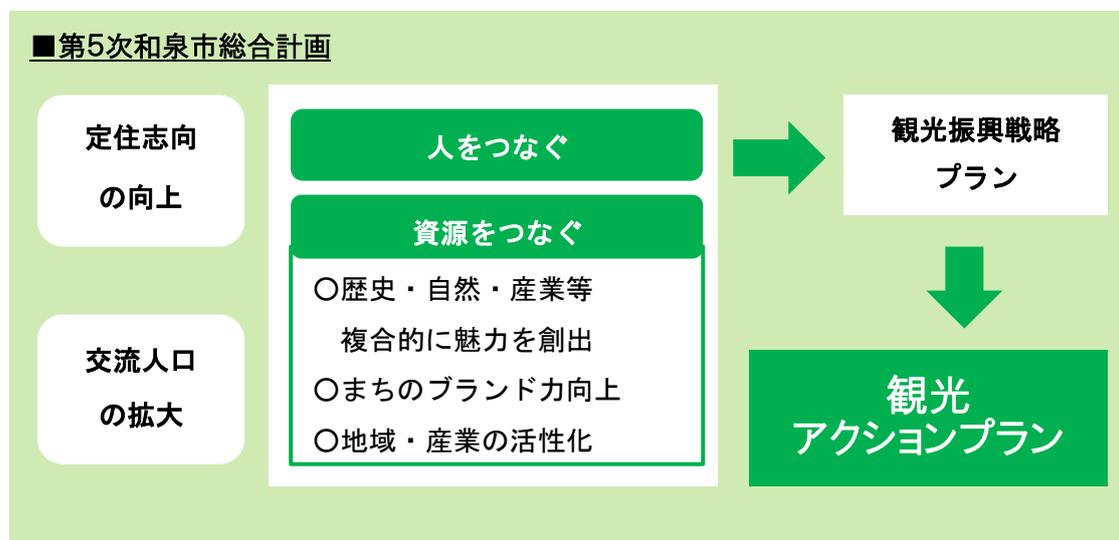
- ④ 絶えず数値目標に対して到達状況を確認し、必要に応じて短期間でのPDCAサイクルを繰り返します。
- ⑤ 市内外の多くの団体・事業者との関係づくりにより、大きなネットワークを形成し、連携・共同・協力の取組を積極的に展開します。
- ⑥ プランに基づく取組に多くの市民が参加することで、わがまちに対する誇りと愛着を醸成させ、定住志向を高めます。

### (3) プランの位置付け

第5次和泉市総合計画では、まちづくりの基本方針として「交流人口の拡大」を掲げており、本市の自然・歴史・文化等の従来から存在する観光資源と新たな集客施設について、それぞれの魅力を融合した新たな魅力の創出により、市外の人が市内を巡回し、繰り返し訪れてきていただけるような取組を進め、昼間人口が増加する活気あるまちづくりに取り組むこととしています。

そして、まちづくりの視点として、「資源をつなぐ」ことで、市内の歴史、自然や産業等の固有の資源を融合させ、複合的に魅力を創出する仕組みづくりに取り組み、市外から人が活発に行き交うようになることで、「まちのブランド力向上」と「地域産業の活性化」をめざすこととされています。

これらの具体的な戦略の一つとして、和泉市観光振興戦略プランに基づき令和元年度まで取組を進めてきましたが、これまでの到達点と課題を整理し状況の変化も踏まえつつさらに戦略的に進めていくためのプランを策定したものです。



### (4) プランの期間

本プランの計画期間は、令和2(2020)年度から令和7(2025)年までの6か年とします。

## 2. 観光の現状と課題

### (1)日本人観光客の動向

国内旅行の市場規模は、宿泊旅行・日帰り旅行ともに3億人を少し割る人員規模で推移しており、人口減が進みつつある今後の日本人マーケットは、その国内旅行市場規模は減少していく傾向になるものと想定されます。

また、2018年度の調査では、日本人による国内旅行での消費は宿泊旅行・日帰り旅行ともに減少しており、合計では前年比3%の減少となっています。さらに旅行消費額については、旅行者数の減少の大きさも相まって前年比7%もの減少となっています。

#### ①日本人国内旅行者数(2018年度)

	旅行者数	前年比
宿泊旅行	2億9,105万人	10.0%減
日帰り旅行	2億7,073万人	16.5%減
合計	5億6,178万人	13.2%減

資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」

#### ②日本人国内旅行消費額(2018年度)

	旅行消費額	前年比
宿泊旅行	15兆8,040億円	1.7%減
日帰り旅行	4兆6,794億円	7.0%減
合計	20兆4,834億円	3.0%減

資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」

#### ③一人あたり1回旅行単価(2018年度)

	旅行消費額	前年比
宿泊旅行	54,300円/人	9.2%増
日帰り旅行	17,295円/人	11.3%増
合計	36,462円/人	11.8%増

資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」

## (2)外国人観光客の動向

外国人国内旅行者数については台風21号をはじめとした自然災害による来日の鈍化なども一時的にみられたものの、2018年には3,000万人を突破して、2020年には4,000万人の達成に向けてインバウンド来日促進の施策が実施されています。

インバウンドの来訪者が増加する中で、今まで外国人消費の中心を担っていた「買い物」が旅行費用構成比を大きく下げ、代わりに「体験」が増加するなど新しい傾向が見られています。その消費額の合計額は4兆5,189億円と、前述の日本人日帰り旅行費4兆6,794億円に並ぶ金額レベルに成長しています。

### ①来阪観光客数の推移

2019.4.3  
大阪観光局  
(単位：万人)

	2016			2017			2018					
	全国	大阪	東京	全国	大阪	東京	全国	前年同期比	大阪	前年同期比	東京	前年同期比
中国	637.4	372.9	378.0	735.6	402.4	421.5	838.0	114%	455.0	113%	465.9	111%
韓国	509.0	157.8	117.1	714.0	241.3	152.8	753.9	106%	239.0	99%	148.5	97%
台湾	416.8	125.4	142.1	456.4	140.1	148.8	475.7	104%	122.3	87%	149.9	101%
香港	183.9	62.7	62.0	223.2	74.1	73.0	220.8	99%	71.8	97%	72.4	99%
タイ	90.2	27.0	49.0	98.7	29.8	55.1	113.2	115%	32.5	109%	59.0	107%
シンガポール	36.2	9.5	25.5	40.4	12.5	27.6	43.7	108%	15.7	126%	28.7	104%
マレーシア	39.4	18.5	17.0	44.0	21.5	17.5	46.8	107%	22.5	105%	20.7	118%
インドネシア	27.1	12.9	21.0	35.2	15.7	28.5	39.7	113%	18.7	119%	33.5	118%
フィリピン	34.8	12.8	20.0	42.4	15.8	23.5	50.4	119%	16.9	107%	29.3	124%
ベトナム	23.4	9.0	14.4	30.9	11.7	20.1	38.9	126%	15.7	135%	25.0	124%
インド	12.3	3.1	7.3	13.4	3.7	8.1	15.4	115%	3.9	105%	10.1	125%
イギリス	29.2	5.6	26.7	31.0	5.7	29.3	33.4	108%	6.1	107%	31.7	108%
ドイツ	18.3	6.2	14.8	19.6	6.2	16.0	21.5	110%	7.6	122%	17.6	110%
フランス	25.3	10.0	22.2	26.9	10.7	23.3	30.5	114%	12.6	118%	26.7	115%
アメリカ	124.3	31.9	86.7	137.5	35.9	105.3	152.7	111%	41.5	116%	119.1	113%
カナダ	27.3	9.2	22.1	30.6	10.4	24.8	33.1	108%	12.6	122%	27.8	112%
豪	44.5	19.6	37.5	49.5	21.3	42.5	55.2	112%	24.3	114%	47.3	111%
その他	124.6	45.9	95.3	139.8	52.9	107.7	156.3	112%	53.9	102%	126.8	118%
合計	2,404.0	940.0	1,158.7	2,869.1	1,110.3	1,325.5	3,119.2	109%	1,141.6	103%	1,422.3	107%

JNTO「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに推計。  
四捨五入の関係で合計が合わないところがあります。  
2017年の数字は2018年7月の観光庁の修正発表を受けて修正した数字。

### ②外国人国内旅行者数(2018年度)

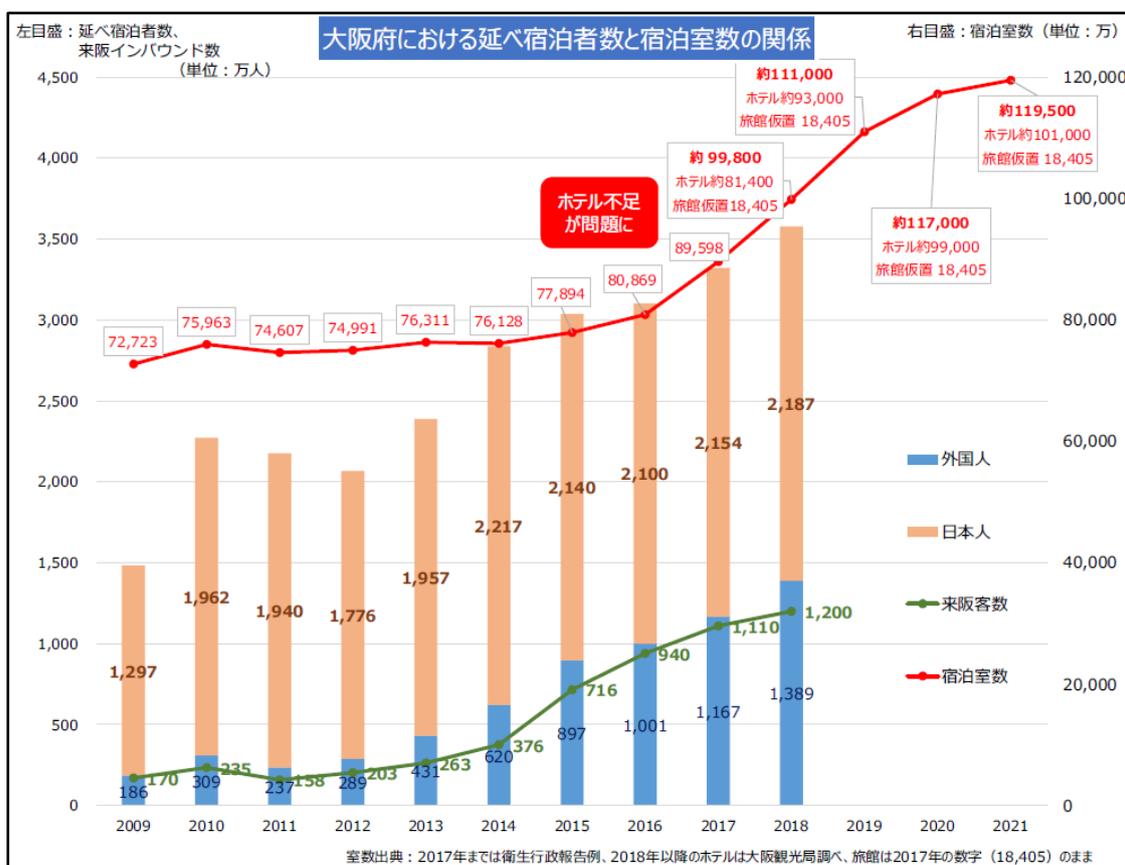
	人数(総泊数)	前年比
旅行者総数	3,119 万人	8.7%増
延べ宿泊者数	9,428 万人泊	18.3%増

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」、日本政府観光局「平成30年 訪日外客数・出国日本人数」

### ③外国人国内旅行消費額(2018年度)

	旅行消費額	前年比
宿泊費	1兆3,212億円	1.1%増
買物費	1兆5,763億円	2.4%減
飲食費	9,783億円	1.6%増
その他	6,432億円	0.4%減
合計	4兆5,189億円	8.7%増

資料：観光庁「2018年の訪日外国人旅行消費額」



### ④一人あたり1回旅行単価(2018年度)

	旅行消費単価	前年比
宿泊費	45,787円/人	5.5%増
買物費	51,256円/人	10.4%減
飲食費	33,748円/人	9.3%増
その他	22,238円/人	1.2%減
合計	153,029円/人	0.6%減

資料：観光庁「2018年の訪日外国人旅行消費額」

### (3)大阪府内の観光動向

平成30年の北部地震、台風21号などの悪影響があったにもかかわらず、大阪府内の宿泊施設の充実にともない、域内宿泊については大幅な伸びを見せています。

大阪の訪問回数については、初回が57%、2回目が11%、3回目が15%と全体の半分以上は、大阪にはじめての訪問者であったが、2回目・3回目をあわせると4分の1の訪問者となり、リピーターの増加も目に付きます。

特に、香港・台湾からはリピーターが7～8割にもなり、目新しい訪問先・体験メニューの提案が求められます。

#### 大阪府への観光客数(2018年度)

	旅行者数	前年比
外国人訪問者数	1,141.6 万人	3.0%増
宿泊者数	3,576 万人泊	7.7%増
うち 外国人宿泊者数	1,389 万人泊	19.0%増

資料:近畿運輸局「関西の観光統計について」

### (4)和泉市内の観光動向

和泉市への観光訪問者の多くは近隣市(大阪市・堺市・泉州地域各市町・和歌山県・奈良県など)からの訪問と思われ、宿泊を伴わない「日帰り・ちょっと立ち寄り観光」がメインになると想定されます。

近隣他市にない観光施策や体験プログラムの提供が、来訪機会の拡大に繋がり、ひいては本市の魅力を体感いただくことにも繋がります。

#### ①和泉市の観光客数(2018年調査)

	旅行者数	うち、外国人数
観光客数	137.8 万人	9.6 万人
宿泊者数	4.8 万人	—

資料:和泉市 2018.11 観光振興経済調査業務 報告書

#### ② 市内主要宿泊施設2018年実績

##### ○ホテルルートイン大阪和泉

客室数240室(287名)平均稼働率約80%

日本人:ビジネス客、海外:中国・韓国の団体客

##### ○弥生の里温泉

客室数50室(86名)平均稼働率約90%

海外:中国・韓国の団体・個人、日本:全体の1割程度

### ③市内主要15施設の観光客数【平成27年～平成30年】

観光施設名	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	全体	うち外国人 人数	全体	うち外国人 人数	全体	うち外国人 人数	全体	うち外国人 人数
葛葉稲荷神社	7,300	7	8,660	9	8,660	9	8,660	9
リアーナ	528	不明	818	不明	722	不明	712	不明
信太の森ふるさと館	6,085	不明	5,324	不明	6,278	63	4,698	94
弥生の里温泉	12,169	不明	125,000	25,000	124,222	34,222	110,000	27,500
池上曾根史跡公園	110,937	1,109	84,000	840	58,600	586	80,853	1,213
大阪府立弥生文化博物館	64,545	645	55,041	550	45,341	453	52,401	1,310
大阪市立信太山野外活動センター	69,500	695	66,600	666	71,000	710	63,600	636
和泉市久保惣記念美術館	23,161	不明	28,265	不明	43,925	不明	32,639	不明
和泉市いずみの国歴史館	10,334	10	12,846	13	13,483	135	10,141	10
和泉リサイクル環境公園	362,000	36,200	350,000	35,000	379,754	35,000	379,560	37,956
松尾寺	17,725	177	10,000	150	10,000	300	10,000	350
道の駅	355,732	不明	425,470	不明	413,779	不明	393,611	不明
槇尾山施福寺	105,000	1,050	130,000	1,300	150,000	1,500	160,000	1,600
和泉市立青少年の家	26,830	268	26,656	267	27,565	276	25,556	0
いずみふれあい農の里	30,000	150	29,000	145	30,000	150	30,000	90
<b>合計</b>	<b>1,201,846</b>	<b>40,313</b>	<b>1,357,680</b>	<b>63,939</b>	<b>1,383,329</b>	<b>73,403</b>	<b>1,362,431</b>	<b>70,768</b>

※外国人数の合計は「不明」の施設を0として計算

※道の駅来場者カウント

- ①レジ客数×(平日2.3人・休日3.2人※過去のカウント調査より)【公民協働推進室から提供】=年間来場者数
- ②年間来場者数×0.8で算出(プラン策定時の調査により、約2割が和泉市民の利用者であるため、観光客数のカウントから除外するもの)

※外国人数について、各施設より全体概ね1%、1%未満という回答のあった施設は1%として計上

未回答及びほぼ来訪者なしとの回答施設については『不明』と記載

## **(5)和泉市の課題**

- ① 市民が本市の資源の魅力を体感できていないことから、いずみ市民大学や和泉観光ボランティアクラブなどと連携し、市民自らが本市の魅力を体感、発掘、発信することができる仕組みが必要になっています。また、地域に愛着が持てる地域のボランティアガイド体制を構築するなど、市民とともに観光客を受け入れる体制の強化が必要です。
- ② 関西国際空港の利用者が鉄道を利用する際に、和泉府中駅は通過点となっており、和泉府中駅に降りて、本市を訪れてもらえるような魅力ある観光地づくりが必要です。
- ③ 市内の宿泊者については、宿泊のみの利用が多く、市内観光施設や近隣の飲食店への誘導があまり出来ていないことから、市内宿泊者を市内観光地などへ誘導する仕組みが必要です。
- ④ 市内の観光施設を訪れる方が周辺施設で食事や買物ができる環境に弱さがあり、来訪されている観光客の消費により地域への経済波及が生まれる仕組みが必要です。
- ⑤ 地域特有の地場産業や医療を観光コンテンツとして、まだまだ活用できておらず、地域住民の身近にある資源を観光客誘客の手段とする仕組みが必要です。
- ⑥ 「ブランド」で誘客のできる観光資源や施設はまだまだ少なく、和泉市域のプロモーションの強化が必要です。
- ⑦ 和泉市にしかない観光資源の強みを活かしておらず、人や風土、文化や観光施設などを組み合わせ、場合によっては生み出しながら、本市の強みを活かした観光メニューづくりが必要です。
- ⑧ 自動車以外で主要な観光施設を訪れる方が他の観光施設へストレスなく周遊できる環境が整っておらず、市内主要観光施設をつなぐ、交通の確立や周遊できる仕組みが必要です。
- ⑨ 観光に携わる旅行事業者や宿泊事業者、交通事業者をはじめ関係団体との連携協力体制が弱いことから、観光客を効率的に集客するためのネットワークづくりが必要です。

### 3. 市民とともに観光客を受け入れる環境づくり

#### (1) いずみ市民大学まちづくり学部観光おもてなし学科の創設

市が実施している生涯学習推進事業の一つであるいずみ市民大学まちづくり学部に観光おもてなし学科を開設します。講師には観光業やまちづくりの知識を有する有識者を招き、意欲ある市民が自ら観光資源を発掘するだけでなく、それを伝達できる方法も学び、即実践できるような講義内容とします。

##### 具体的な講義内容例

- ①まちの美化、観光客とのコミュニケーションなど「観光のおもてなし」を考える
- ②観光コンテンツの発掘
- ③自らが発掘した魅力素材を掲載した「まち歩きマップ」の作成
- ④魅力の伝達方法、来訪促進を考える

##### **Point** 観光おもてなし学科

現在、同大学まちづくり学部の講義では、地域活性化を目的に自らがコミュニティを創造し活動できる人材を育成しています。観光おもてなし学科では自らが観光資源を発掘し、それを魅力的な情報として発信していくスキルを学びます。また、国内外から和泉市を訪れた方に対するおもてなしの精神を学ぶことにより、市全体として観光客を迎え入れる気運を高めることを目的にしています。

#### (2) 市民地域ボランティアガイドの育成

和泉観光ボランティアクラブ及びいずみ市民大学まちづくり学部観光おもてなし学科において、地域ボランティアガイドを輩出する体制を整え、市民だからこそ知る市のグルメ情報やお出かけスポットを紹介し現地へ案内するガイドの育成に取り組みます。観光ガイドブックに載っていないようなコンテンツを紹介することで、訪れた方に特別感を与え満足度向上をはかります。

##### **Point** 市民地域ボランティアガイド

活動を希望する方は和泉観光ボランティアクラブに所属するものとしています。同クラブへ入会するには、和泉観光ボランティアクラブが主催する養成講座を受講する、もしくは上記（１）いずみ市民大学「まちづくり学部観光おもてなし学科」を卒業することで可能となります。

#### (3) 地域通訳案内士育成等計画の策定

今後も増加が見込まれる訪日外国人観光客の受入体制の整備を図るため、「地域通訳案内士育成等計画」を定め、外国語に長けた市民が地域通訳案内士として活躍

できる環境を整えます。市民が通訳及び観光ガイドを提供することにより、市全体として訪日外国人観光客に対する歓迎の意識を高めます。

#### **Point** 地域通訳案内士

特定の地域内で、外国人旅行者を対象として「報酬を得て、通訳案内を業とする」とされています。各自治体は観光庁の同意を得て「地域通訳案内士育成等計画」を策定することにより地域通訳案内士を認定することができます。国家資格である全国通訳案内士が本業務を行っていますが、全国的に不足しており、国は各自治体での地域通訳案内士の導入を推進しています。

#### **(4)地域への愛着と誇りを醸成する取組**

- ① 「アートがあふれるまち」としてブランド力を市民とともに高めることを目的とし、和泉市久保惣記念美術館やまちなか等の屋内・屋外問わず、活用できるスペースを発掘し、絵画・彫刻・写真・書道・音楽など各分野で創作活動に励む市民の個展、グループ展及びコンテスト開催等を検討していきます。また、その内容を市内外に広く発信することで、市民がより一層アート(芸術全般)に親しみ、さらなる創作意欲の活性化をはかることにより、本市ならではの「アートがあふれるまち」をめざします。また、市民の創作意欲を引き出す機会になるようなアート(芸術)全般に関わる講座の積極的な開催を検討します。
- ② 池上曽根史跡公園や周辺施設において、地域住民や企業とともにイベントや催しの開催を検討・実施するなど、池上曽根史跡公園を軸にしながら地域住民とともに観光施策に取り組むことをめざします。
- ③ 南部地域においては、「農」をキーワードとして、周辺施設との連携も視野に入れて、地域住民とともに観光客を受け入れる取り組みの検討・実施をめざします。

#### 4. 市域内で「ひと」「経済」が循環できる仕組みづくり

##### (1) 新たな宿泊施設開設に伴う和泉府中駅周辺のナイトカルチャー等の観光地づくり

本市には宿泊施設「ルートイン大阪和泉」が2017年にオープンし、宿泊者数も高水準で維持しています。しかし、当該施設への宿泊者については、自動車やツアーによる大型バスでの利用が大半となっており、関西国際空港から鉄道を利用する観光客向けの宿泊施設とはなっておらず、今後増加するこれらの観光客を市内宿泊へ誘導するには、鉄道の快速停車駅付近に宿泊施設が位置していることが望ましく、本市においては同条件に該当する和泉府中駅周辺に新たな宿泊施設の開設が予定されています。

そこで、宿泊施設到着後の主に夜間の時間帯に照準をあて、商店街などの居酒屋、スナック、バー、カラオケ店などと連携して、インバウンド対応のサービスを提供するとともに、人気の高いライブハウスの誘致をはじめ、季節に応じて市民が楽しむイベント等を活かしたナイトカルチャーの整備をめざします。

春 黒鳥山公園の夜桜花見

夏 周辺地域の盆踊りや夏祭り

秋 だんじり祭り、地車および鳴物の練習風景の見学や小栗街道の提灯風景の散策

冬 和泉府中駅前イルミネーション(イズミネーション)

【黒鳥山公園の夜桜花見】



【和泉府中駅前イルミネーション】



## (2)急増する弥生の里温泉への外国人宿泊者の展開

近年、急増する弥生の里温泉への外国人宿泊者に合わせ、周辺店舗についても外国人観光客向けの看板及びメニューの設置等を促し、外国人観光客の市内消費の増加を図ります。

現状、これらの宿泊者に関しては、周辺飲食店等での飲食は少なく、近隣スーパーでの買い物で食事を済ましており、また、池上曽根史跡公園等の観光施設にも足を運んでいただけていません。

これらの宿泊者に対し、周辺施設の魅力が届くよう、観光案内板の設置および地域散策マップを作成するなどにより、宿泊施設外への循環を促します。

また、宿泊者に対して、弥生の里温泉の協力を得ながら、魅力ある観光メニューを実施、体験してもらうことで、本市来訪への満足度の向上を図るとともに、参加者による本市の魅力情報の拡散をめざします。

【信太山駅前多言語案内板】



【池上曽根史跡公園多言語案内板】



## (3)和泉市久保惣記念美術館周辺の土地活用等の検討

和泉市久保惣記念美術館の周辺は、食事や買い物で楽しんでいただける施設がわずかしかなく、そこで民間所有地である美術館周辺の土地の利活用について、美術館を中心に1日中でも過ごせるような民間施設誘致を行うなどにより、和泉市久保惣記念美術館の来館者数の増加と市内消費の増加につなげます。

また、美術館周辺における空き家についても、和泉・久保惣ミュージアムタウンの一部として活用できる方法を模索します。

### **Point** 空き家の活用方法

一例としては空き家の壁にアートを施す、古民家風ギャラリーとして活用するなどがあげられます。

#### **(4)和泉市立青少年の家及び施設周辺の魅力向上による観光資源化**

和泉市立青少年の家は、少子化などにより利用者数の減少が課題になっています。この施設を観光資源のひとつとして有効活用を図ります。施設としてはアウトドア愛好家の間で注目が高まっている快適さを兼ね備えたテントの設置や、食事の準備などのわずらわしさから旅行者を解放した「良い所取りの自然体験宿泊施設(グランピング)」の併設等の検討を進めます。また、自然豊かな施設周辺についても新たな観光資源を開発することにより、宿泊者が一日楽しめる観光地域の確立をめざします。

##### グランピング施設の導入



#### **(5)団体観光ツアー客が利用可能な食事提供場所の創出**

本市は団体観光ツアー客の食事提供場所が不足しており、課題のひとつになっています。これまで、観光ツアーの造成に向けた取組みを行っており、大型バス等によるツアー観光客に対応した食事提供場所の確保は必須です。和泉の食を楽しみつつ、和泉・久保惣ミュージアムタウンや池上曽根史跡公園等の街歩きを楽しんでいただけるよう食事提供場所の確保に努め、周遊型観光ツアー造成につなげます。

##### <レストラン誘致以外における団体ツアー客の食事方法の検討>

- ①宿泊施設内レストラン等において、昼間など未使用時間帯の活用を調整します。
- ②桃山学院大学の飲食施設を団体ツアー向けでの活用を調整します。
- ③和泉産の野菜や米を使った弁当を作り、南部リージョンセンター、和泉リサイクル環境公園等で提供できるよう調整します。

#### **(6)ニューツーリズムの実施**

ニューツーリズムとは、従来型の観光旅行ではなく、テーマ性の強い体験型の新しいタイプの旅行を指します。外国人旅行者のみならず、国内の旅行者を対象にした、これらのツアーを造成することにより、市内への周遊を図ります。活用についての一例については下記に示します。

##### ①産業ツーリズム

「コープラボたべるたいせつミュージアム」など既に見学等を実施している施設がありますが、このような施設を新たに設けるべく、テクノステージ和泉の事業者等との調

整を行い、観光の資源として活用を図ります。

また、仏並町で実施している大規模な水耕栽培企業施設の見学や水耕栽培によって作られた野菜の料理体験・試食など、各種の事業に取り組む事業者等にこうした取組みに参画いただけるよう働きかけます。

#### **Point** 産業ツーリズム

地域にある産業をそのまま観光資源とすることから、地域住民に身近で、地域のブランド化にも直結する観光で、有名企業の工場見学などが中心です。

#### ②医療ツーリズム

ロングステイ外国人旅行者を対象に、特に今後増加するアジア圏の富裕層が求めている人間ドッグなど、予防医療やがん検診などの検査医療を提供することで、医療体験者本人はもちろん、同行の家族や友人なども含めて市域での滞在や観光を楽しんでいただける機会の増加をめざします。

#### **Point** 医療ツーリズム

訪日外国人が増える中、高品質の医療と最先端の医療技術・機器を求める富裕層を中心としたニーズは拡大しています。2020年には医療観光が5500億円の市場規模への拡大が見込まれます。主に中国からの来訪者が中心ですが、今後、ベトナム、タイ、マレーシアなどにも広がると予想されています。

### (7)インターネット等を活用した観光情報の発信

本市では、これまで和泉市内主要観光施設の情報、体験プログラム、イベント等の案内を和泉市観光ホームページ「サトマチイズミ」等で発信しています。今後はさらなる誘客増加に向けた情報発信を行うとともに、消費の増加や、滞在時間の延長につながるようインターネットを活用して国内外に効果的な情報発信を行います。

#### ①Osaka Free Wi-fiの整備を促進

インターネットでの情報取得が中心となる現代において、外国人観光客が利用しやすい環境づくりを行い、観光客自身がSNS等で発信することによるさらなる和泉市の魅力発信をめざします。

(平成31年3月末現在で、和泉市内主要観光施設5か所にOsaka Free Wi-fiを設置済)



### 新たな Osaka Free Wi-fi 導入施設

これまでは市の施設のうち、観光客が多い施設への導入を進めてきましたが、今後は観光客の多い民間施設および商店街等も含めて導入箇所を検討し、調整します。市内観光施設に Osaka Free Wi-fi を導入することにより、外国人が観光施設を訪れるたびに再設定をすることなく、Wi-fi 利用を行うことが可能になります。

### ②外国人インフルエンサーの活用等

市内観光地の誘致促進のため、ターゲットである海外の旅行事業者、ブロガーやメディアなどに現地を視察してもらい、体験した内容を彼らのSNSにて発信することにより、外国人に直接本市の魅力を伝えます。

### ③ポケットークの活用

地域通訳案内士では対応できない英語圏以外からの観光客に対して、ポケットークを活用して、案内を充実させます。



### ポケットーク

ポケットークとは世界74言語に対応した手の平サイズの自動翻訳機のことです。音声を認識するとクラウド上でAIが解析・翻訳を行うことにより他言語の音声として再生することが可能となります。

## 5. 「とき」消費を生み出す大胆な観光メニューづくり

観光メニューづくりにあたり、和泉市観光振興戦略プランの重点魅力創出エリアにおいて、各エリアの観光施設や体験メニューの主なものを踏まえ、和泉市でしか体験できない「とき」消費として考えられる観光メニューを次のように示し、大胆な観光メニューをつくり、それを実行することで交流人口の拡大を図ります。

### **Point** 和泉市でしか体験できない「とき」を生み出す

本市において、体験できるメニューはありますが、そこに、和泉市でしか体験できない要素を付け加えることにより、まずは、和泉市に訪訪してもらえよう訪問目的の観光メニューを実施、来訪のきっかけをつくり、それを市内の周遊につなげて行くことをめざします。

### (1)北部地域

#### ①主な施設

##### 【宿泊施設】

- ・弥生の里温泉

##### 【観光施設】

- ・リアーナ(日本人造真珠硝子細貨工業組合展示場)
- ・佐竹ガラス
- ・信太森葛葉稻荷神社
- ・池上曾根史跡公園
- ・大阪府立弥生文化博物館

#### ②既存の体験できるメニュー(主なもの)

- ・歴史を感じる散策(池上曾根史跡公園)
- ・参拝、お守り購入(信太森葛葉稻荷神社)
- ・ガラス細工体験(佐竹ガラス)
- ・アクセサリーづくり(リアーナ)
- ・風呂敷づくり等各種体験(いずみの国観光おもてなし処和泉府中)

#### ③「とき」消費を生み出す観光メニュー

##### 【日本人、インバウンド向け】

##### ・妖艶な花魁に大変身

弥生の里温泉と連携し、女性をターゲットとして、花魁衣装に着替え、SNS発信を見据えて市内の観光施設で写真撮影を実施、弥生の里温泉で昼食してもらおう日帰りツアーなどの体験メニューを検討。



### Point 花魁衣装のSNS発信

花魁衣装とは、豪華な着物に派手なかんざしをつけたもので、変身写真として人気があるものです。

#### ・和泉の歴史を肌で感じよう

池上曽根史跡公園を核として、周辺施設である大阪府立弥生文化博物館等と連携。博物館に協力してもらい、館内で弥生時代の服装を作成、その服装を着用しながら池上曽根史跡公園内にて和泉の歴史に関するクイズに答えていただくなどの体験メニューを検討。



### Point 歴史をテーマに和泉市を感じる

池上曽根史跡公園と周辺施設との連携により、歴史をテーマに和泉市を感じることができるメニューを検討します。エリア外の和泉市いずみの国歴史館との連携も視野に入れます。

#### ・世界に一つしかないオリジナルアクセサリーづくり

佐竹ガラスでのガラス細工体験やリアーナでのいずみパールやいずみ硝子を使用したアクセサリーづくりなど、和泉市の地場産品に触れる創作体験メニューを実施。



### Point 地場産品の創作体験

本市の地場産品の創作体験を組み合わせます。

佐竹ガラスでは、ビー玉、日本人造真珠硝子細貨工業組合では、ネックレスなどが制作できます。

#### ・観るだけでなく参加して楽しむだんじり祭り

秋に実施される各地域でのだんじり祭りにおいて、単なる観覧のみならず、法被を着用しながら、一緒にだんじり曳行や演奏などに参加(事前に行われている鳴り物や太鼓練習などにも参加)出来るだんじり祭り体験メニューを検討。



### Point だんじり祭り体験

本市で行われているだんじり祭りにおいて、単なる観るだけでなく、地域住民とふれあひながら参加できる体験を組み合わせることなどを調整します。

## (2)中部地域

### ①主な施設

#### 【宿泊施設】

- ・ホテルルートイン大阪和泉
- ・ゲストハウス藤畳

#### 【観光施設】

- ・和泉市久保惣記念美術館
- ・和泉リサイクル環境公園
- ・松尾川河川敷公園
- ・和泉市いずみの国歴史館
- ・さをりの森
- ・桃山学院大学
- ・ららぽーと和泉
- ・和泉シティプラザ
- ・松尾寺
- ・コープラボたべるたいせつミュージアム

### ②既存の体験できるメニュー(主なもの)

- ・オリジナル畳作り体験(ゲストハウス藤畳)
- ・浮世絵版画摺り体験(和泉市久保惣記念美術館)
- ・四季折々の花鑑賞(和泉リサイクル環境公園)
- ・ひつじの観察(松尾川河川敷公園)
- ・土器に触れる体験(和泉市いずみの国歴史館)
- ・さをり織り体験(さをりの森)
- ・散策(松尾寺、パブリックアート、国学発祥の地など)
- ・食に関するワークショップ(コープラボたべるたいせつミュージアム)

### ③「とき」消費を生み出す観光メニュー

#### 【インバウンド向け】

#### ・見て触れて試着できる美術館

国宝2点や国の重要文化財29点を含み、約11,000点を所蔵する和泉市久保惣記念美術館において、見るだけでなく試着等、展覧会に関連した体験メニューを検討する。また、着用した写真等イベントの様子を撮影し、インスタグラムに発信するなどSNS発信につなげる。



## 【日本人・インバウンド向け】

### ・食への見識と和太鼓文化に触れよう

和泉シティプラザにおいて、和泉市を拠点とする和太鼓チームによる和太鼓ワークショップとコラボたべるといせつミュージアムでの食に関するワークショップを同日に開催し、和太鼓文化に触れつつ、食に関する造詣を深める一日体験メニューを検討。



### ・創作活動でストレス発散

さをり織りの森でのさをり織り体験とゲストハウス藤畳でのオリジナル畳づくり体験を同日に開催し、創作活動に没頭し、一日ストレスを忘れる体験メニューを検討。



## Point さをり織り

さをり織りとは、何千本という糸から自分で素材、色、風合いを選んで自由に織るもので、見本がなく、ミスや失敗がない、ということが特徴です。

### ・パブリックアートツアー

和泉・久保惣ミュージアムタウン内にある立体造形物3体と壁画アート30点のパブリックアートを巡るツアー、インバウンド向けコースやショートコースなどを設定しつつ、クイズラリーやスタンプラリーを実施し、正解者等にはパブリックアートのグッズを贈呈するなど、アートに浸る一日体験メニューを検討。



## Point インバウンド向けショートコース

インバウンド向けコースとは、歌舞伎や武士などインバウンドに人気のある絵画を限定したコースのことを、また、ショートコースは、作品を10点程度鑑賞できるようなコース設定を想定。

### (3)南部地域

#### ①主な施設

##### 【宿泊施設】

- ・榎尾会館
- ・和泉市立青少年の家

##### 【観光施設】

- ・榎尾山施福寺
- ・榎尾山グリーンランド
- ・いずみふれあい農の里
- ・道の駅いずみ山愛の里

#### ②既存の体験できるメニュー(主なもの)

- ・参拝と御朱印購入(榎尾山施福寺)
- ・散策とローラー滑り台体験(榎尾山グリーンランド)
- ・いちご狩りや芋ほり体験(いずみふれあい農の里)
- ・料理教室等各種体験事業(南部リージョンセンター)

#### ③「とき」消費を生み出す観光メニュー

##### 【日本人向け】

##### ・女子サッカーチーム選手との触れ合い

本市に拠点を置く本格的な女子サッカーチームの協力のもと、少年少女サッカーチームなどを対象に、スキルアップ講習やPK対決などの体験後、選手と一緒に青少年の家やいずみふれあい農の里でのバーベキューを実施するなど女子サッカーチームと触れ合える体験メニューを検討。



##### **Point** 女子サッカーチーム(和泉テクノFC)

女子サッカーチーム(和泉テクノFC)は、平成29年にテクノステージ和泉まちづくり協議会が結成した協議会会員企業に働く女性で構成された社会人のチーム。

##### 【日本人、インバウンド向け】

##### ・「農」から和泉の暮らしを楽しもう

農家さんの協力のもと、農作業を体験しながら、地域住民と触れあい、地名の由来や昔ながらのきまり事、その土地独自の味付けなど、その土地でしか味わえない文化や風土、食べ物などに触れる体験メニューを検討。



### ・西国巡礼から南部の魅力に触れよう

西国三十三所巡礼の4番札所である槇尾山施福寺を参拝した後、槇尾山グリーンランドへのハイキング、和泉市立青少年の家でハイキング中に採取した山菜を使った昼食後、南部リージョンセンターでの各種体験を実施するなど、南部地域独自のものに触れる体験メニューを検討。



### ・あなただけのベストショットを撮影しよう

写真撮影の技術や手法などの講習を和泉市立青少年の家や南部リージョンセンターで実施、その後、街中を散策しながらのどかな自然風景のベストショットを撮影、自然に癒されながら街中を楽しめる体験を検討。撮影した写真については、投票を実施し、投票数の多い方の作品を観光ホームページにアップする等の体験メニューを検討。



### **Point** 西国巡礼が日本遺産に認定

「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～」として、令和元年5月20日付け日本遺産に認定されました。

## 6. 交通アクセス等ストレスなく周遊できる環境づくり

### (1)現状と課題

観光振興戦略プランでは、重点魅力創出エリアとして、「和泉・久保惣ミュージアムタウン」「和泉・信太の森ヒストリータウン」「南部地域」の3地域を設定していますが、自動車以外で主要な観光施設を来訪される場合、観光客がストレスなく周遊できる環境が整っていません。

#### Point 「和泉・信太の森ヒストリータウン」

和泉市観光振興戦略プランにおける魅力創出エリアの名称について、各エリアが協調できるようにするため「和泉・信太の森恋パールガラススクエア」を「和泉・信太の森ヒストリータウン」に名称変更します。

和泉市に公共交通機関を利用して来訪される場合、次の経路があります。

#### <経路>

##### ■関西国際空港を利用される場合

(電車) 関西国際空港…………… 和泉府中 (JR)  
(リムジンバス) 関西国際空港…………… 和泉中央 (泉北高速鉄道)

##### ■大阪方面からの場合

(JR) 新大阪…………… 大阪…………… 天王寺…………… 堺市…………… 和泉府中  
(南海) 難波…………… 堺東…………… 中百舌鳥…………… 和泉中央

##### ■和歌山方面からの場合

(JR) 和歌山…………… 和泉府中  
(南海) 和歌山市…………… 泉大津 (南海バス)…………… 和泉府中

JR和泉府中駅及び泉北高速鉄道和泉中央駅が大きな玄関口となりますが、この二つの鉄道駅から市内主要15施設へのバス経路と観光客のストレス度合を検証しますと、次のことがうかがえます。

#### <ストレス度合>

##### ①葛葉稲荷神社

JR和泉府中→JR北信太(最寄駅)→徒歩 5分【ストレス度：1】

##### ②リアーナ

JR和泉府中→JR北信太(最寄駅)→徒歩15分【ストレス度：2】

##### ③信太の森ふるさと館

JR和泉府中→JR北信太(最寄駅)→徒歩25分【ストレス度：3】

※次ページに続く

**④弥生の里温泉**

J R和泉府中→J R信太山（最寄駅）→徒歩 5分 【ストレス度：1】

**⑤池上曾根史跡公園**

J R和泉府中→J R信太山（最寄駅）→徒歩20分 【ストレス度：3】

**⑥大阪府立弥生文化博物館**

J R和泉府中→J R信太山（最寄駅）→徒歩20分 【ストレス度：3】

**⑦大阪市立信太山野外活動センター**

J R和泉府中→J R信太山（最寄駅）→徒歩30分 【ストレス度：4】

**⑧和泉市久保惣記念美術館**

イ) 泉北高速鉄道と泉中央（最寄駅）→徒歩30分 【ストレス度：4】

ロ) 泉北高速鉄道と泉中央→美術館前<南海バス15分>

→徒歩1分 【ストレス度：3】

**⑨和泉市いずみの国歴史館**

和泉中央（最寄駅）→徒歩20分 【ストレス度：3】

**⑩和泉リサイクル環境公園**

和泉中央（最寄駅）→納花<南海バス15分>

→徒歩30分 【ストレス度：5】

**⑪松尾寺**

和泉中央（最寄駅）→松尾寺<南海バス20分>

→徒歩2分 【ストレス度：4】

**⑫道の駅山愛の里**

和泉中央（最寄駅）→榎尾中学校前<南海バス26分>

→徒歩15分 【ストレス度：5】

**⑬榎尾山施福寺**

和泉中央（最寄駅）→榎尾中学校前<南海バス26分>

→榎尾山<オレンジバス12分>→徒歩40分 【ストレス度：5】

**⑭和泉市立青少年の家**

和泉中央（最寄駅）→榎尾中学校前<南海バス26分>

→青少年の家<オレンジバス20分> 【ストレス度：5】

**⑮いずみふれあい農の里**

和泉中央（最寄駅）→榎尾中学校前<南海バス26分>

→徒歩40分 【ストレス度：5】

◎数字が大きいほどストレス度は高い（最大値5で設定）

以上のようにストレス度を低い順に1～5に設定し、一番高い5の中でも差はありますが、市内主要15施設でストレス度の4以上は約7割を占めていることから、ストレス度を軽減する必要があり、かつ、周遊しやすい環境整備が求められています。

そこで、主に鉄道を利用して来訪される場合に、あまりストレスを感じさせない新たな移動手段を含めた環境を整備します。

### Point

#### 観光客誘客に周遊観光アクセスの確保は必須

観光施設を周遊する交通アクセスの確保はこれまでの大きな課題になっています。例えば、「和泉・久保惣ミュージアムタウン」においては、和泉リサイクル環境公園のストレス度でも明らかなように最寄の鉄道駅からは遠く、バスの公共交通アクセスがなく駐車場も満車になる日が多いことからアクセスの確保が必須です。また、タウン内では車利用者が多く単発の施設利用で帰ってしまう方も多いことから、周遊観光バスの運行によって、タウン内の周遊循環を高めたいこうとする狙いがあります。「和泉・信太の森ヒストリータウン」内の池上曽根史跡公園においても同じことが言えます。

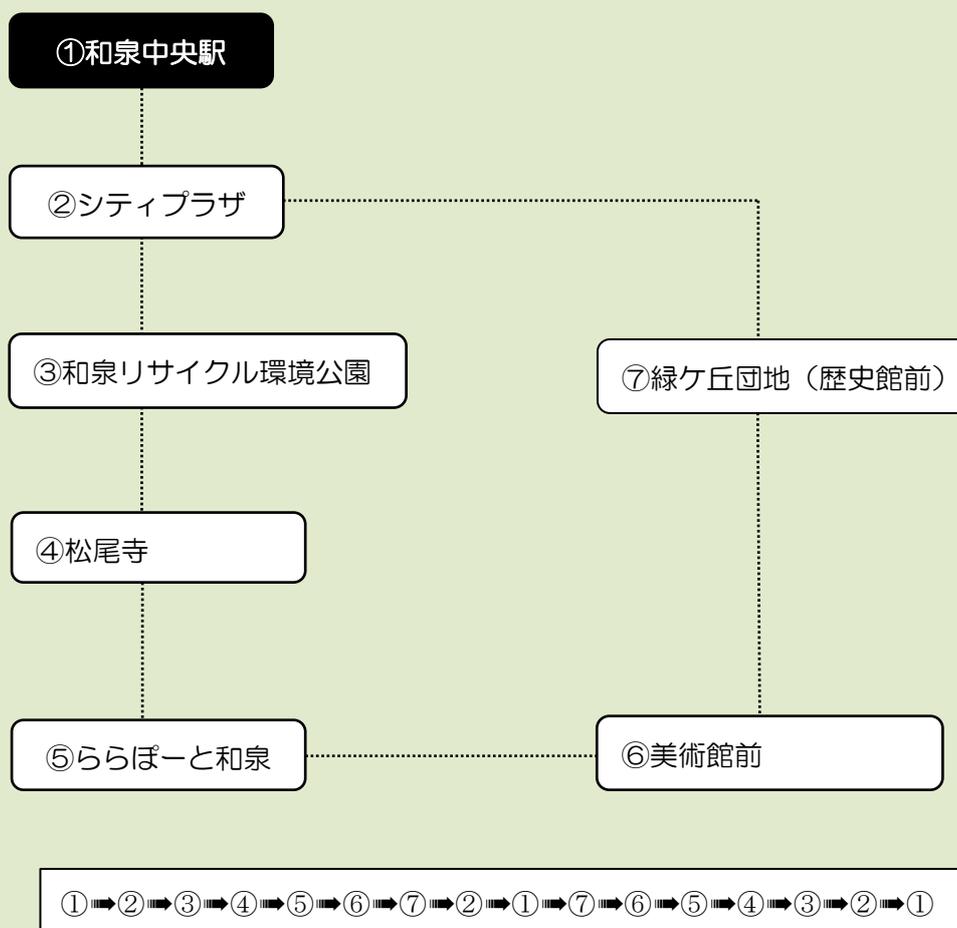
## (2)周遊観光バスの運行

現在、運行している市コミュニティバス「めぐ〜る」の施設巡回ルート(3月・4月・10月・11月の日曜日・祝日、祭礼日除く、大人100円、小人50円)を見直し、周遊観光バスにシフトし、今後ルートについても検討します。

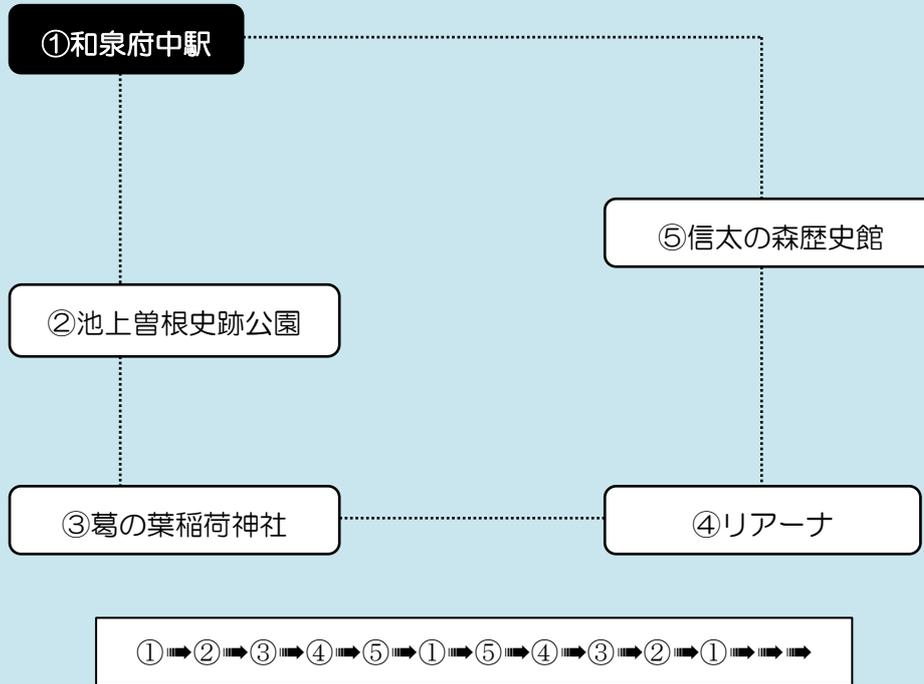
### 【周遊観光バスの運行概要】(案)

- 運行日：日曜日・祝祭日（祭礼日除く）
- 便数：6便程度／日
- コース：「ミュージアムタウンループ」  
          :「歴史ータウンループ」  
          :「南部ループ」
- 料金：1日共通利用券500円

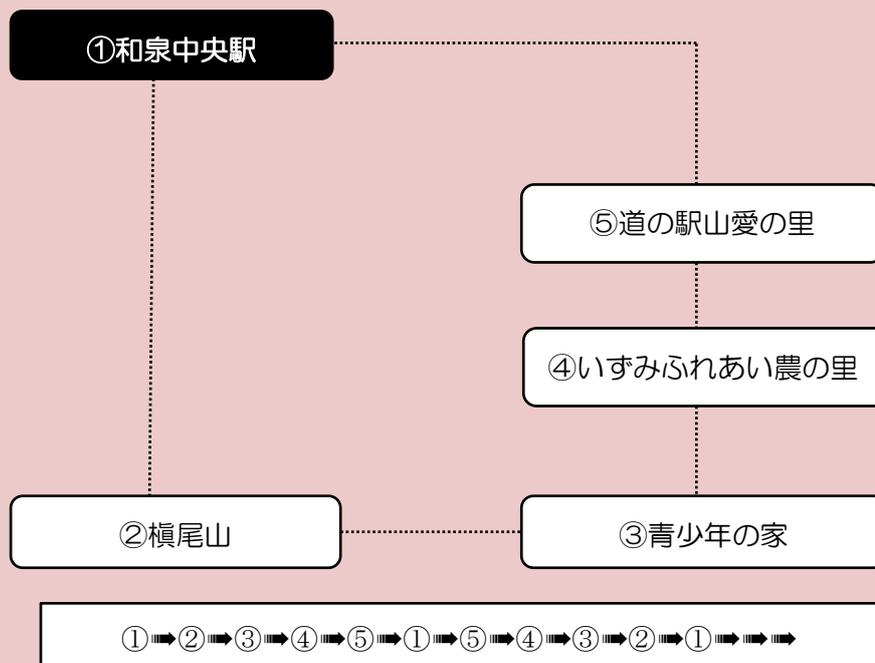
### ■運行系統図①（ミュージアムタウンループ）＜イメージ＞



■運行系統図②（歴史タウンループ）＜イメージ＞



■運行系統図③（南部ループ）＜イメージ＞



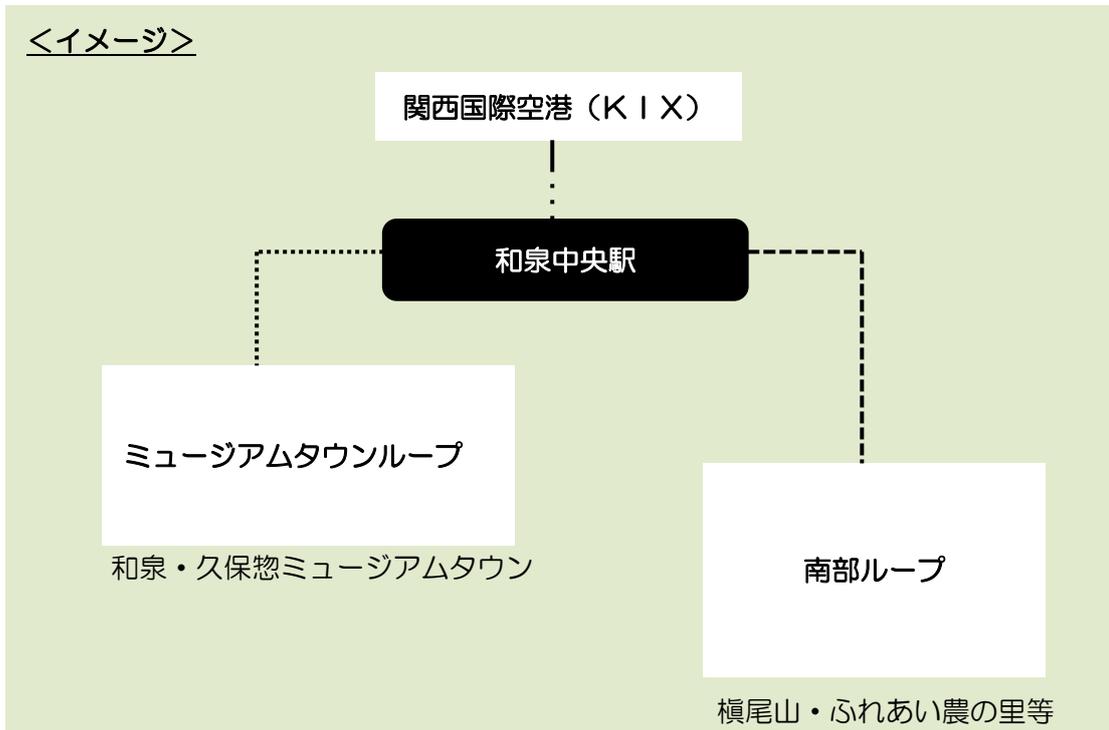
### (3) 南海関空リムジンバスの有効活用

関西国際空港の利用者を対象にして、同空港から和泉市の来訪を促進するため、外国人・日本人それぞれがよく利用するSNSのサイトにおいて情報発信を行い、南海関空リムジンバスを利用して泉北高速鉄道和泉中央駅に入り、周遊観光バスを利用し「和泉・久保惣ミュージアムタウン」「南部地域」を観光できる仕組みをつくります。

利用しやすさと合わせて魅力付けを行うため次の取組を行います。

- ①「南海関空リムジンバス」と「和泉市周遊観光バス」をセットにしてお得な共通利用券のネット販売を事業者と調整します。
- ②お勧め周遊コースと飲食店等で利用できるお得なクーポン券を案内します。

#### <イメージ>



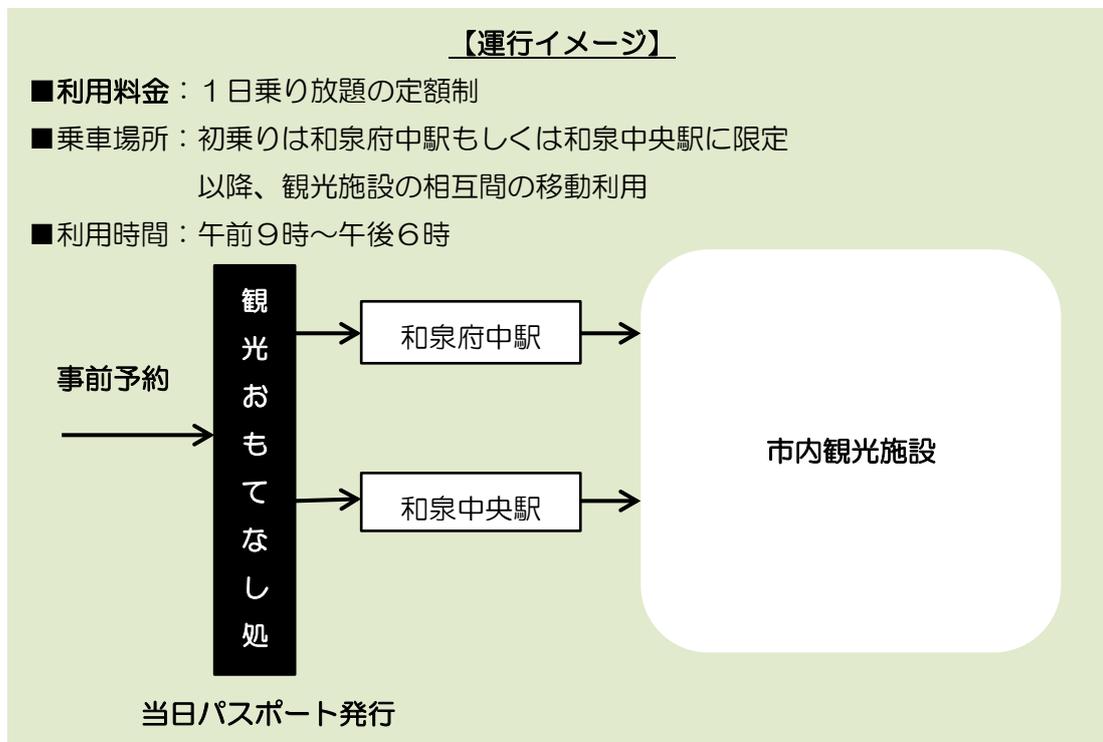
#### Point

##### ストレスが少ない交通環境の整備

コミュニティバスの「施設巡回ルート」は、平成17年度から観光客を主な対象として運行していますが、コースの見直しもなく利用者が非常に少ない状況で推移しています。バス運行に関して利用者の確保は非常に難しい状況にありますが、観光客を誘客するためにはストレスなく過ごしていただく環境をいかにつくるかが重要であり、そのためには交通アクセスの確保は必要です。利用者の確保に向けては、タウン内の施設・事業者との共同した取り組みによって、バスを利用することによる、他の特典などの付加価値をつけるなど工夫した取り組みを展開します。

#### (4) 定額制周遊観光タクシーの運行

和泉府中駅及び和泉中央駅を利用して市内観光をする方を対象にして、定額制(乗り放題サービス)の周遊観光タクシーの運行を検討します。



#### **Point** バス時刻に制約されたくない移動手段ニーズ

周遊観光バスを運行することによって、観光するアクセスの確保は出来ますが、バスの運行時刻に制約されることなく、自分のペースで観光をしたいというニーズもあることから、これまで他市町村の一部の地域で実証実験がされていますが、タクシー事業者との協議・連携によって運行をめざします。

#### (5) レンタカー事業者との連携

市内のレンタカー事業者と連携し、鉄道駅からレンタカーを利用して周遊観光できる仕組みづくりを検討します。

#### **【市内のレンタカー事業者】**

- トヨタレンタリース新大阪
- ニコニコレンタカー
- ガッツレンタカー
- タイムズレンタカー
- Fレンタカー 等

### Point レンタカー事業者との連携内容

本市のようにバス等公共交通網が発達しておらず、観光施設が広範囲にある地域においては、レンタカー利用のニーズがありますが現在はその情報提供ができていません。このため、観光客の色々な移動ニーズを満たしていくために、レンタカー事業者と連携して、市としてレンタカー事業者の情報を提供し、レンタカー事業者は「食事」「体験」等の観光ルートを提案・案内するなど、レンタカーを利用すればお得な特典（施設の入場料の割引、食事クーポン券等の提供）を付与したシステムづくりを行います。

### (6)シェアサイクルの導入

より利用しやすい自転車の移動手段を構築するため、現在の市直営のレンタル事業を廃止し、民間事業者主導による「シェアサイクル」の導入をめざします。

■レンタルサイクルとシェアサイクルの主な相違点

	レンタルサイクル	シェアサイクル
事業者	和泉市	民間事業者
利用時間	午前8時～午後6時	24時間
貸出場所	鉄道駅前4か所	観光施設含む十数か所
乗り捨て	できない	できる
他市町への利用	できない	できる

### Point シェアサイクルの利点について

主な利点としては、無人貸借と24時間貸借が可能であること、市をまたがった貸借が可能であることが挙げられます。また、現在、市では4駅の駐輪場のみレンタルサイクルを設置していますが、シェアサイクルでは容易に各観光施設などに貸出返却場所を設置できます。近年、シェアサイクルは首都圏や大阪市内での普及が進んでおりますが、観光客の利便性向上を目的とし、本市においても導入をめざします。

## 7. 観光客を集客するネットワークづくり

観光客を集客するうえで関連の事業者、団体とのネットワークづくりが大切です。

各関連事業者、団体等がどのような内容で連携・協力できるかを抽出することにより、顧客・会員等のニーズや要望によって気持ちよく満足して和泉市を観光できるメニューを提供します。

定期的にネットワーク会議を開催するなど、課題・ニーズ等を共有しネットワークによる観光事業を推進します。

### (1)旅行事業者

- ① 本市の観光旅行商品を開発します。
- ② 自社の顧客ニーズに基づく和泉市の観光を提案します。

### (2)宿泊事業者

- ① 宿泊客が周辺の観光施設を周回できるメニューづくりと関係する観光施設・飲食店とのネットワークをつくります。
- ② 本市内に団体客が利用できる食事提供施設がないなかで、可能な限りの受け入れを調整します。

### (3)交通事業者

- ① 鉄道・バス・タクシーが連携した観光客をスムーズに移動できる環境を常に考え整備に努めます。
- ② 旅行・宿泊事業者と連携して観光客受入強化路線等の設定を検討します。

### (4)文化団体

- ① 市内の文化団体の協力を得て、観光客の「こと」消費を後押しする体験の観光メニュー、本市の文化的な魅力をわかりやすく発信できるマニュアルを作成し、ネットワーク団体等に提供します。
- ② 市外の文化団体には和泉市久保惣記念美術館を中心に和泉市の文化を体感していただけるようなアプローチを行います。

### (5)教育団体

学習の場として和泉市を活用していただけるよう教育団体とのネットワークづくりを行います。

### (6)友好・姉妹・交流・協定団体

国内外を含めて協力の団体地域との双方の観光客を誘客する仕組みづくりを検討します。

### (7)メディア

観光分野での友好・協力関係を深めます。



### ネットワークづくりの足掛かりとなる海外教育旅行

海外教育旅行（※海外の小・中・高校生が市内の児童・生徒と交流を行うもの）では、大阪観光局及びエージェンツなど連携・関係のある団体からオファーがあり実施しました。これまで、中国・台湾・香港・ベトナムからの実績があります。また、海外の保育士等の教育研修や韓国から自治会視察としても本市に訪れています。

## 8. 達成目標と指標

### (1) 達成目標

#### ① 観光客数(市内主要15施設)

160万人(内、インバウンド14万人)

#### 【算定根拠】

#### ■施設ごとの目標数

観光施設名	平成31年度 (2019年度)		令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
	全体	うち外国人	全体	うち外国人	全体	うち外国人	全体	うち外国人	全体	うち外国人	全体	うち外国人	全体	うち外国人
1 葛葉稲荷神社	9,000	450	11,000	550	13,000	650	15,000	750	17,000	850	19,000	950	20,000	1,000
2 リアーナ	800	40	830	42	860	43	900	45	930	47	960	48	1,000	50
3 信太の森ふるさと館	4,700	235	5,000	250	6,000	300	7,000	350	8,000	400	9,000	450	10,000	500
4 弥生の里温泉	110,000	27,500	22,000	19,800	22,500	20,475	23,000	21,160	23,500	21,855	24,000	22,560	25,000	23,750
5 池上曾根史跡公園	81,000	4,050	90,000	4,500	100,000	5,000	105,000	5,250	110,000	5,500	115,000	5,750	120,000	6,000
6 大阪府弥生文化博物館	53,000	2,650	58,000	2,900	60,000	3,000	65,000	3,250	70,000	3,500	75,000	3,750	80,000	4,000
7 大阪市立信太山野外活動センター	64,000	3,200	68,000	3,400	72,000	3,600	74,000	3,700	75,000	3,750	76,000	3,800	77,000	3,850
8 和泉市久保記念美術館	29,000	1,450	30,000	1,500	31,000	1,550	32,000	1,600	33,000	1,650	34,000	1,700	35,000	1,750
9 和泉市いずみの国歴史館	10,200	510	11,000	550	13,000	650	15,000	750	17,000	850	19,000	950	20,000	1,000
10 和泉リサイクル環境公園	380,000	38,000	390,000	39,000	410,000	41,000	420,000	42,000	430,000	43,000	440,000	44,000	450,000	45,000
11 松尾寺	10,000	500	13,000	650	16,000	800	20,000	1,000	23,000	1,150	26,000	1,300	30,000	1,500
12 道の駅	400,000	20,000	405,000	20,250	410,000	20,500	420,000	21,000	430,000	21,500	440,000	22,000	450,000	22,500
13 横尾山施福寺	160,000	8,000	165,000	8,250	170,000	8,500	175,000	8,750	180,000	9,000	190,000	9,500	200,000	10,000
14 和泉市青少年の家	26,800	1,340	26,900	1,345	27,000	1,350	27,000	1,350	27,000	1,350	27,000	1,350	27,000	1,350
15 いずみふれあい農の里	30,000	1,500	35,000	1,750	39,000	1,950	43,000	2,150	46,000	2,300	48,000	2,400	50,000	2,500
<b>合計</b>	<b>1,368,500</b>	<b>108,425</b>	<b>1,330,730</b>	<b>104,737</b>	<b>1,390,360</b>	<b>113,468</b>	<b>1,441,800</b>	<b>121,605</b>	<b>1,490,430</b>	<b>125,302</b>	<b>1,542,960</b>	<b>133,708</b>	<b>1,595,000</b>	<b>138,250</b>
うち外国人が占める割合	8.0%		7.9%		8.2%		8.4%		8.4%		8.7%		8.7%	

※弥生の里温泉：令和元年12月末日をもって日帰り温泉の営業は終了し、宿泊のみの受入となります

#### 【和泉市における観光客数のカウント方法】

和泉市観光振興戦略プランでも確立したものです。

① 有料施設、入口が限定される施設：チケット等の販売人数もしくは入口でのカウント数の聞き取り

② 宿泊施設：宿泊施設からの宿泊数の聞き取り

③ イベント等：主催者発表もしくは主催者からの聞き取り

④ 入口での把握が困難な観光地

◇ 駐車場の利用車両数からの換算

車両台数 × 1/2(車両往復) × 3(人※)

※車両の往路・復路のカウントを避ける。また車種毎の平均乗車人数を乗ずる

(大型バスの場合はその人数を別途換算)

◇敷地内の一定範囲でのカウントによる換算(年4回※開催)

実施時間(40分)×1.5で1時間当たりの観光客数を算出し換算

※観光庁 観光入込客統計に準ずる

◇道の駅いずみ山愛の里は、以下のとおり算出し換算

レジ客数×(平日2.3人・休日3.2人※)×0.8(約2割が和泉市民の利用者であるため、観光客数のカウントから除外するもの※)

※公民協働推進室との協議により過去のカウント調査により決定

## ②和泉市の歴史・文化への市民誇り度

55%(市民アンケート)

### 【算出根拠】

#### ■第5次総合計画の進行管理のための市民アンケート結果

「誇りを持っている」「どちらかと言えば誇りを持っている」の合算割合

平成28年度：47.4% 平成29・30年度：46.3%

◎約9ポイント積み上げる

## ③和泉市への市民愛着度

60%(市民アンケート)

これまで市民アンケートに項目がありませんでしたが令和2年度実施分から新たに項目を追加します。「愛着を持っている」「どちらかと言えば愛着をもっている」の合算数値。

和泉市観光振興戦略プランでは「市内主要15施設の観光客数を平成30年度までに150万人にする」という一つの目標に設定していましたが、本アクションプランでは「はじめに」の項に記載のとおり、「市民が住んでいるまちに魅力と愛着を感じ誇りに思えることで、わがまちを自慢し来訪者を呼び込もうとする状況を築く」としていることから②及び③の達成目標を設定します。

(2)KPI(重要業績評価指標)

①アクションプランの取組に係わった市民の人数(のべ)

1万人

【算定根拠】

項 目	算 定	人 数
観光推進委員会出席者	10人×2回×6年	120人
コンソーシアム等出席者	(10人+10人)×5回×6年	600人
インバウンド対応店舗会議出席者	(10人+10人)×5回×6年	600人
まち清掃等ボランティア参加者	30人×5回×6年	900人
ツアー・体験メニュー参加者	(300人+300人)×6年	3,600人
市内主要15施設巡り参加者	500人×6年	3,000人
観光おもてなし学科授業出席者	20人×10回×6年	1,200人

②地域観光ボランティアガイド活動人数(のべ)

600人

【算定根拠】

5人×20回×6年

③いずみ市民大学まちづくり学部観光おもてなし学科の卒業生

120人

【算定根拠】

20人×6年

④インバウンド向けサービスの導入店舗数

60店舗

【算定根拠】

地 域	導入店舗数
和泉府中駅周辺	20
ミュージアムタウン	20
ヒストリータウン	15
南部地域	5

⑤パブリックアートツアーの参加人数

600人

【算定根拠】

20人×5回×6年

⑥周遊観光バスの乗車人数

15,000人

※1日フリー乗車券購入者12,000人

【算定根拠】

7人×6便×62日×6年

1日フリー乗車券購入者は乗降人数の8割に設定

⑦ネットワーク形成団体数

100団体

(内、インバウンド関係10団体)

【算定根拠】

■現在の形成団体状況

公益財団法人大阪観光局

株式会社近畿日本ツーリスト関西

株式会社日本ツアーサービス

はやぶさ国際観光バス株式会社

阪九フェリー株式会社

一般社団法人日本自動車連盟（JAF）

西日本高速道路株式会社（NEXCO西日本）

産経新聞開発株式会社

和歌山県かつらぎ町

YELLOW BALLOON JAPAN（韓国エージェント）

※10団体（内、インバウンド1団体）

■新規開拓団体（90団体）

地 域	団 体	形成数
首都圏	観光協会・自治体・観光関連事業者等	5
中部圏	観光協会・自治体等	5
関西圏	観光協会・自治体等	50
中国	南通市・エージェント等	6
台湾	エージェント等	3
香港	エージェント等	3
韓国	エージェント等	3
東南アジア	エージェント等	6
欧米・ロシア	エージェント等	5
米国・カナダ	ブルーミントン、エージェント等	4

### (3)観光客の実態調査

来訪する観光客の動きを把握するため、地点を設定した「観光客実態調査」を行い新たな目標・効果指標の設定を検討します。

#### ①地点の候補地

- ・槇尾山施福寺
- ・道の駅「山愛の里」
- ・和泉リサイクル環境公園
- ・和泉市久保惣記念美術館
- ・大阪府立弥生文化博物館
- ・池上曾根史跡公園
- ・葛葉稻荷神社

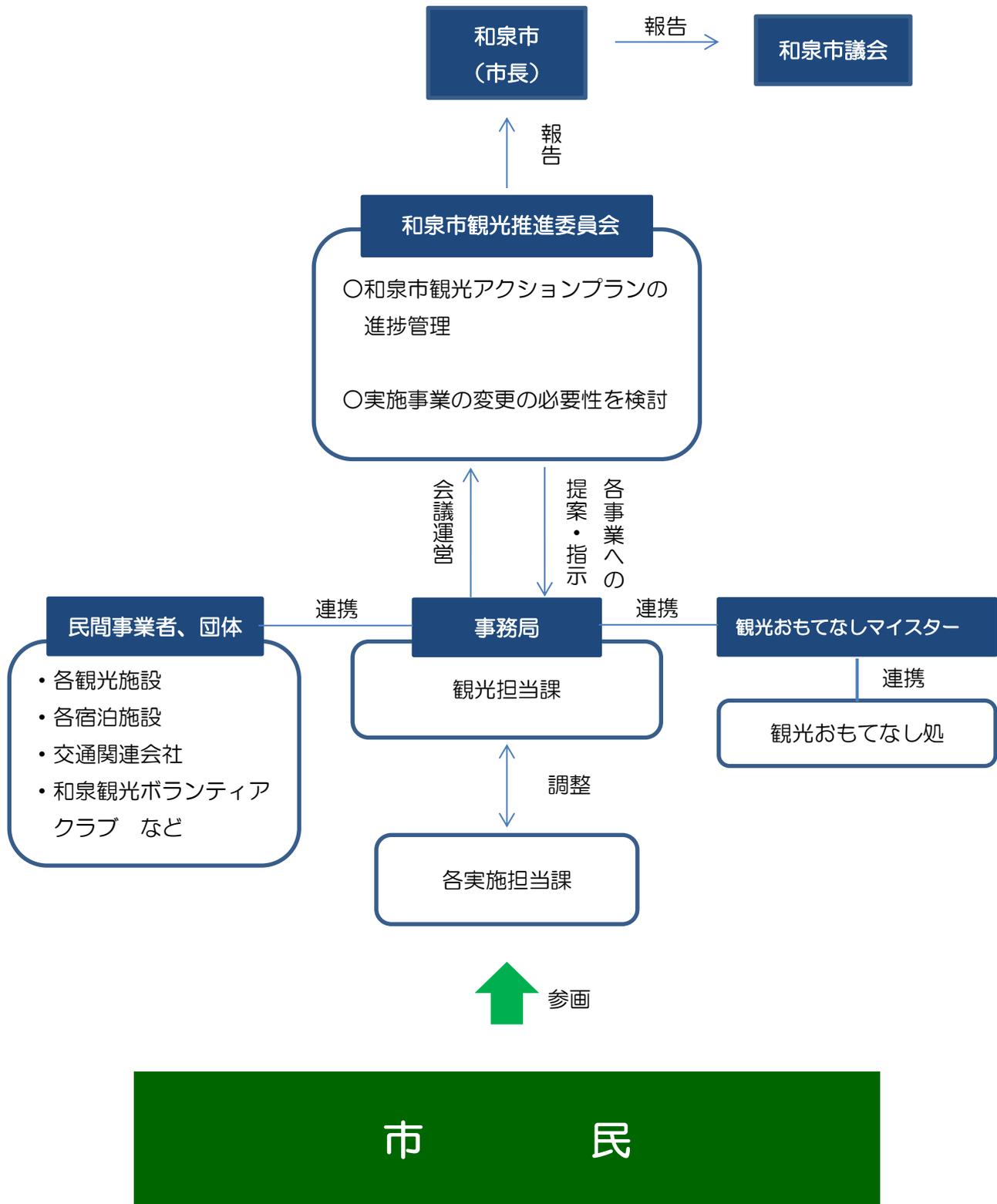
#### ②調査項目

- ・どこから来たのか
- ・来るきっかけは
- ・他施設の市内観光はあるのか
- ・日帰なのか・泊まりなのか(宿泊先は)
- ・市内で食事はするのか(食事先は)
- ・市内で買物はするのか(買物先は)
- ・市内での滞在時間は
- ・市内での消費額は

#### **Point** 観光客の実態調査

観光客の実態把握がまだまだ不十分であることから年次的な調査を継続し、①市内観光する施設数、②市内での滞在時間数、③市内での消費金額等の目標・効果指標の設定を行おうとするものです。

## 9. アクションプラン実施に向けた組織体制



## 和泉市観光アクションプラン

■発行年月／令和2年3月

■発行／大阪府和泉市

■編集／和泉市市長公室いずみアピール課

〒594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目7番5号

TEL:0725-41-1551